

医学部倫理委員会記録

1. 開催日時：2022年6月2日（木）16時30分から17時07分まで
2. 開催場所：矢巾附属病院10階大会議室・内丸1号館3階大会議室（テレビ会議）
3. 出席者：諏訪部委員長、石垣副委員長、福島副委員長、古山委員、伊藤（智）委員、前門戸委員、櫻庭委員、板持委員、丹野委員、工藤委員、佐々木（美）委員、遠藤委員、高橋（弘）委員、高橋（耕）委員、河野委員、齊藤委員
4. 欠席者：なし
5. 議 事：
 - （1）倫理申請に係る審査 iPad
諏訪部委員長の司会進行で、以下のとおり審議した。なお、委員会の開催に先立ち、審査の種類及び審査件数並びに委員会の成立について確認した。

1) 受付番号：MH2022-023（年次更新）

課 題：ネオアジュバンド化学療法前の腋窩リンパ節陽性がネオアジュバンド化学療法後に病理学的陰性に転じた患者を対象として、乳房切除後胸壁及び所属リンパ節の外部放射線治療、並びに腫瘍切除後所属リンパ節放射線治療を評価する第Ⅲ相無作為化臨床試験（NRG ONCOLOGY NSABP B-51/RT0G1304 試験）

申請者：外科学講座 教授 佐々木 章

研究統括責任者：外科学講座 助教 石田 和茂

主任研究者：外科学講座 助教 石田 和茂

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：石田助教（主任研究者））の上審査した結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

質問意見は特に寄せられなかった。

2) 受付番号：MH2022-024

課 題：持続的血液浄化療法に関する多機関共同の後ろ向き観察研究

申請者：泌尿器科学講座 教授 阿部 貴弥

研究統括責任者：泌尿器科学講座 教授 阿部 貴弥

主任研究者：泌尿器科学講座 教授 阿部 貴弥

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：阿部教授（主任研究者））の上審査した結果、本課題を条件付き承認とした。

【審議内容】

- ・申請書 4.3 研究費の分担の有無、4.3.1 研究費の分担の詳細について、研究計画書 9. より、ニプロ株式会社から資金提供があると思われるので、研究費の分担についての有無および詳細を記載すること。
- ・申請書 13.2.2 研究に用いられる情報及び当該情報に係る資料の保管及び廃棄について、「A」は保管する情報・資料の名称を具体的に記載すること。
- ・申請書 6.4、6.7、11.3 について、該当するページ数の欄に「Appendix」と記載すること。
- ・情報公開文書について、非同意の意思を表明する期限が短く設定されているので、研究が終了となる2025年3月31日まで等再検討すること。
- ・情報公開文書について、非同意の意思を表明する期限が文中（個人情報の保護）では2022年6月30日までとなっているので統一すること。
- ・本研究に関係する研究者等個人の利益相反の有無がこの文書では判断できない。説明文書に従事する研究者に利益相反がないこと記載すること。
- ・企業等から本研究に関わりのある研究費の提供は契約を締結すること。研究に対する利益相反があることから研究結果に偏りが発生しないよう留意すること（助言：企業等から研究費

の提供)。

3) 受付番号：MH2022-025

課題：Pain Vision®を用いた運動器症候群発症の予測に関する研究

申請者：麻酔学講座 教授 鈴木 健二

研究統括責任者：麻酔学講座 助教 山田 直人

主任研究者：麻酔学講座 助教 山田 直人

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答(出席者：山田助教(主任研究者))の上審査した結果、本課題を変更の勧告とした。

【審議内容】

- ・申請書について、研究に参加する研究者は倫理教育を受講すること。
- ・申請書 6.2. 研究対象の選定方法について、パイロット研究としては症例数(100例)と研究手法が妥当ではないと思われるので再検討すること。
- ・申請書 6.6. 研究期間について、総研究期間の「2024年3月31日」に修正すること。
- ・申請書 13.2.2. 研究に用いられる情報及び当該情報に係る資料の保管及び廃棄について、「A」は保管する情報・資料を具体的に記載すること。
- ・申請書 13.2.2. 研究に用いられる情報及び当該情報に係る資料の保管及び廃棄について、「C」は総研究期間の「2024年3月31日」から5年間の保管になるので修正すること。
- ・申請書 11.9. 取得した試料・情報について、対象者等から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性、14. 研究機関の長への報告内容及び方法について、研究計画書の該当ページ数が異なるので修正すること。
- ・研究計画書 表紙について、ヘッダーを「Ver. 1.1」に修正すること。
- ・研究計画書 表紙について、ページ中ほどの「Ver. 1.1 作成」は「改訂」に修正すること。
- ・研究計画書 0.1. シェーマについて、対象が「2023年4月1日までの患者」とあるが、他箇所記載から「2023年3月31日まで」に修正すること。
- ・研究計画書 0.2. 目的について、パイロット研究であることを念頭に置いた目的に修正すること。
- ・研究計画書 0.3.2. 除外規準について、「歩行障害、ADL障害が強い患者」の「強い」規準を明確にすること。また、文章を分かりやすく一文に修正すること。
- ・研究計画書 0.4. 検査について、治療内容がメインのように記載しているので、書き方を工夫し修正すること。
- ・研究計画書 0.5. 予定登録数と研究期間について、パイロット研究であることを念頭に置き適切な登録数及び研究期間を再度検討した修正すること。
- ・研究計画書 2.1. 背景について、「4000万人以上のロコモ患者がいる」とのように意味が分かりやすい文章に追記修正すること。
- ・研究計画書 2.2. 対象について、「実際に手術を実施した患者」や「手術予定のない通院患者」は除外されるのか明確に記載すること。
- ・研究計画書 2.4. 検査計画設定の根拠について、引用文献、番号を記載すること。
- ・研究計画書 2.7. 本研究の意義について、2.1. 背景には「介護・介助が必要となるリスクが高い」と記載があるが、2.7. では「介護・介助が必要な状態」とあることから矛盾しているので正しい記載に修正すること。
- ・研究計画書 3. 本研究で用いる規準・定義、診断基準について、ロコモの診断基準を追記すること。
- ・研究計画書 4.2. 除外基準について、「歩行障害、ADL障害が強い患者」の「強い」規準を明確にすること。また、文章を分かりやすく一文に修正すること。
- ・研究計画書 4.3. 予定登録数と研究期間について、パイロット研究であることを念頭に置いた内容に修正すること。
- ・研究計画書 4.3. 予定登録数と研究期間について、総研究期間は「2024年3月31日」に修正すること。

- ・研究計画書 6.2. プロトコール検査中止・完了規準について、「医師の判断で研究を中断した患者」は「医師が研究の継続が不適切と判断した患者」に修正すること。
- ・研究計画書 11.1. 効果判定について、何をもちいてPVによる痛み度とロコモ度との相関があったと判定（判断）するかの規準を記載したうえで適切な内容に修正すること。
- ・研究計画書 11.3 エンドポイントの定義について、内容が不適切であり解析項目も含め不明瞭な内容となっているので、「PVによる痛み度とロコモ度の相関の有無」や「SE：PVによる痛み度によるロコモ発症予測可能性」といった内容を踏まえた記載に修正すること。
- ・研究計画書 12. 統計的事項について、解析方法やデータ内容や取扱い、判断基準に関する具体的な記載を追記すること。
- ・研究計画書 12.3. 中間解析と研究の早期中止について、パイロット研究であることを念頭に置いた内容に修正すること。
- ・研究計画書 13.3.2.2. 個人情報の保護について、「ID」は「研究用 ID」に修正すること。
- ・説明文書 2. 臨床研究について、「運動器症候群」についての説明を追記すること。
- ・説明文書 5. 研究の目的について、「介護・介助の状態となるリスクが上がる」と記載がありますが、研究計画書には「介護・介助が必要な状態」とあることから矛盾しているため、齟齬が無いよう統一した正しい記載に修正すること。
- ・説明文書 7.2. 本研究で用いる医療機器と検査について、テストやPVに費やす時間の説明を追記すること。
- ・説明文書 8. 研究に参加することの利益と不利益について、「ロコモティブ症候群」が「ロコモ」の正式名称であれば、文書全体をとおして最初に「ロコモティブ症候群」を使用するなど検討し修正すること。

4) 受付番号：MH2022-026

課 題：回復期病院における高強度・高頻度リハビリテーションの治療が脳卒中患者の歩行能力と摂食嚥下機能に与える効果の検証

申請者：リハビリテーション医学講座 教授 西村 行秀

研究統括責任者：リハビリテーション医学講座 教授 西村 行秀

主任研究者：リハビリテーション医学講座 教授 西村 行秀

リハビリテーション医学講座 大学院生 小川 大輔

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：小川大学院生（主任研究者））の上審査した結果、本課題を条件付き承認とした。

【審議内容】

- ・申請書 2. 主任研究者について、小川先生が友愛病院において研究に参加する場合は「学外」の欄にも名前を記載すること。
- ・申請書 4.1.1 共同研究の総括責任者について、本学が代表機関になると思われるので本学の総括責任者を記載すること。
- ・申請書 6.5. 研究の実施場所について、「付属」病院は「附属」病院に修正すること。
- ・申請書 9.1.3. 多施設共同研究として他機関に既存試料・情報を提供する場合、あるいは他機関より試料・情報を受け取る場合について、オプトアウトする公開場所を記載すること。
- ・申請書 13.1.2. 他機関への試料・情報の提供に関する記録の作成・保管について、「A」に誤植があるので確認し修正すること。
- ・申請書 13.1.2. 他機関への試料・情報の提供に関する記録の作成・保管について、「C」で提供の記録を作成すると選択しているため、その記録様式も提出すること。
- ・申請書 13.2.2. 研究に用いられる情報及び当該情報に係る資料の保管及び廃棄について、研究計画書より「保管する」が該当すると思われるため、確認のうえ修正すること。
- ・研究計画書 表紙について、「Ver. 1.1」が「作成」となっているため「改訂」に修正すること。
- ・研究計画書 0.1. シェーマについて、本学と友愛病院の役割を分かりやすく記載すること。
- ・研究計画書 目次について、項目番号「0.5.」が漏れていることから修正すること。
- ・研究計画書 4.1. 予定症例数について、予定症例数を記載すること。

- ・研究計画書 4.1. 予定症例数について、文中の「上記の参加基準」は「上記の適格基準」に修正すること。
- ・研究計画書 5.3. 調査方法について、2群に分けてデータ抽出を実施する旨記載すること。
- ・研究計画書 6.3. 症例記録の送付及び保管について、「CRF 保管先」としての事務局の記載は友愛病院のみになる場合は修正すること。
- ・研究計画書 7.1. 患者の保護について、ヘルシンキ宣言、指針の名称、URL は最新のものに修正すること。
- ・研究計画書 7.2.1. 患者への説明について、新指針の名称に修正すること。
- ・研究計画書 7.2.1. 患者への説明について、本学ではオプトアウトしないと思われるので、実際の対応を確認し記載を修正すること。
- ・研究計画書 7.3.4. 情報の授受に関する記録の作成・保管について、「情報の授受に関する記録」の作成・保管について記載すること。
- ・研究計画書 7.8. 倫理委員会の承認について、各施設ごとに倫理委員会承認後、機関の長の実施許可を得るという形に修正すること。
- ・研究計画書 2.3.2. 予想される危険と不利益、7.3.4. 情報の授受に関する記録の作成・保管について、「匿名化」という用語を使用せず、4月1日の倫理指針改正に対応した内容に修正すること。
- ・情報公開文書について、本学でオプトアウトしないことに沿った形で、全体的に内容を修正すること。
- ・情報公開文書について、問い合わせ先は各施設に担当者を設ける等再検討すること。

(2) 報告事項

1) 研究実施状況報告書（終了報告・経過報告） 3件 資料1

諏訪部委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。

承認番号：MH2018-610（2019年3月19日承認）

研究課題名：非代償期C型肝硬変患者におけるインターフェロン・フリー治療の長期予後効果

研究責任者：内科学講座消化器内科肝臓分野 教授 滝川 康裕

報告の種類：経過報告

承認番号：MH2020-147（2020年11月13日承認）

研究課題名：呈色反応を用いた血中リチウム濃度測定に関する定量性の評価

研究責任者：救急・災害・総合医学講座救急医学分野 講師 藤田 友嗣

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2021-002（2021年6月30日承認）

研究課題名：肝細胞癌患者を対象としたマイクロ波焼灼術とラジオ波焼灼術の有効性、安全性に関する多施設共同ランダム化比較試験

研究責任者：内科学講座消化器内科分野 特任准教授 黒田 英克

報告の種類：終了報告

2) 重篤な有害事象発生に関する報告 2件 資料2

諏訪部委員長から、標記の件について資料に基づき以下のとおり報告があった。

承認番号：MH2021-016

研究課題名：トリプルネガティブ乳癌患者に対するアテゾリズマブの前向き観察研究（JBCRG-C08）

本学研究統括責任者：外科学講座 助教 石田 和茂

発生機関：他施設

予測可能性：既知

重篤な有害事象名：下痢

侵襲・介入の内容と因果関係：因果関係有
発生日：2022年4月25日
転帰：軽快
重篤な有害事象に対する措置：変更せず

承認番号：MH2021-016
研究課題名：トリプルネガティブ乳癌患者に対するアテゾリズマブの前向き観察研究（JBCRG-C08）
本学研究統括責任者：外科学講座 助教 石田 和茂
発生機関：他施設
予測可能性：未知
重篤な有害事象名：胸水
侵襲・介入の内容と因果関係：因果関係無
発生日：2022年4月25日
転帰：未回復
重篤な有害事象に対する措置：変更せず

3) 迅速審査及び承認済研究課題の実施計画変更・追加申請の審査結果報告（5月分）報告 23件
資料3

諏訪部委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。また、条件が解除されていない研究課題が4件ある旨あわせて報告があった。

以上

迅速審査（新規申請：6月2日判定分） 審査結果

倫理委員会規程に基づいた迅速審査により、数名の倫理委員会委員による書面審査にて、下記の申請案件を判定した。

1) 受付番号：MH2022-027

課 題：胎児生体信号を用いた次世代胎児モニタリング診断技術の研究

申請者：産婦人科学講座 教授 馬場 長

研究統括責任者：産婦人科学講座 助教 羽場 巖

主任研究者：産婦人科学講座 助教 羽場 巖

東北大学大学院医学系研究科母子ヘルス ケア医科学共同研究講座

講師 笠原 好之

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（石垣副委員長、伊藤委員、丹野委員）による書面審査を行った結果、本課題を条件付き承認とした。

【審議内容】

- ・申請書の「企業等の有無」「研究費の分担の有無」が記載されていないため、記載すること。

2) 受付番号：MH2022-028

課 題：異型腺細胞（AGC）という細胞診断患者の子宮頸部病変診断における CA-IX, p16, 増殖性マーカーとヒトパピローマウイルス（HPV）による比較解析（GOG-0237）

申請者：産婦人科学講座 教授 馬場 長

研究統括責任者：産婦人科学講座 講師 利部 正裕

主任研究者：産婦人科学講座 講師 利部 正裕

ST. JOSEPH HOSPITAL GOG Study Chair SHU-YUAN LIAO

慶應大学産婦人科 NRG-Japan 主任研究者 進 伸幸

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（福島副委員長、遠藤委員、高橋（弘）委員）による書面審査を行った結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

- ・特に質問意見は寄せられなかった。

3) 受付番号：MH2022-029

課 題：深層学習画像再構成法を用いた Cine MRI による心機能評価法の確立

申請者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

研究統括責任者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

主任研究者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

放射線医学講座 助教 折居 誠

GE ヘルスケア・ジャパン 技術本部 研究開発部 MR 研究室 野崎 敦

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（古山委員、板持委員、佐々木委員）による書面審査を行った結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

- ・企業等から本研究に関わりのある機器等の提供は契約を締結すること。研究統括責任者は、本研究と関わりのある企業等の研究者が研究に関与する場合、原則として企業等の研究者に被験者のリクルート及びデータ管理、モニタリング、統計・解析業務には関与させないこと。研究に対する利益相反があることから研究結果に偏りが発生し

ないよう留意すること。（助言：企業等から機器等の提供、企業等に在籍している者の当該臨床研究への従事）

4) 受付番号：MH2022-030

課 題：災害支援者支援における心理職のコンピテンシーに関する調査研

申請者：人間科学科心理学・行動科学分野 教授 相澤 文恵

研究統括責任者：人間科学科心理学・行動科学分野 講師 藤澤 美穂

主任研究者：人間科学科心理学・行動科学分野 講師 藤澤 美穂

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（福島副委員長、遠藤委員、高橋（弘）委員）による書面審査を行った結果、本課題を条件付き承認とした。

【審議内容】

- ・申請書 13.2.2 について、D. の「管理責任者」は統括責任者になるのではないか。説明文書 9. と齟齬があるので、確認のうえ修正すること。
- ・研究計画書 8.3. について、情報表ではなく、情報（表）などに修正をすること。
- ・説明・同意文書 9. について、4月1日の倫理指針改正に伴い、「匿名化」という言葉は用いないこととされたため、記載内容を検討すること。

5) 受付番号：MH2022-031

課 題：慢性肝炎・肝硬変の予後関連因子同定のための前向き観察研究

申請者：内科学講座消化器内科分野 教授 松本 主之

研究統括責任者：内科学講座消化器内科分野 特任准教授 黒田 英克

主任研究者：内科学講座消化器内科分野 特任准教授 黒田 英克

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（前門戸委員、工藤委員、櫻庭委員）による書面審査を行った結果、本課題を条件付き承認とした。

【審議内容】

- ・研究計画書 13. について、造影 CT による撮影や採血は通常の診療で行われるもので、本研究ではその造影 CT で撮影した画像や採血結果を用いて行われるものと思われるが、前向き研究であることから侵襲は「無」ではなく、「通常の診療で生じる造影 CT による被ばくや採血による穿刺以上の侵襲は無い」、「極めて少ない」などの記載内容に検討して修正すること。
- ・本研究に関係する研究者等個人の利益相反の有無がこの文書では判断できない。説明文書に従事する研究者に利益相反がないことを記載すること。

6) 受付番号：MH2022-032

課 題：胸腹部大動脈置換手術における脊髄流入血管 側副血行路の比較検討

【工血管置換症例とステントグラフト症例での比較】

申請者：心臓血管外科学講座 教授 金 一

研究統括責任者：心臓血管外科学講座 教授 金 一

主任研究者：心臓血管外科学講座 教授 金 一

分担研究者：心臓血管外科学講座 専門研修医 齋藤 大樹

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（古山委員、板持委員、佐々木委員）による書面審査を行った結果、本課題を条件付き承認とした。

【審議内容】

- ・申請書 6.3 について、全体的に後ろ向き研究であることが分かるように記載すること。
- ・申請書 6.4 の「対象症例数の理由」について、「後ろ向きで症例を蓄積」と記載されているが、どういう目的で蓄積されたものなのか。倫理指針上、倫理委員会の審査及び承認ならば

- に 研究の実施許可を得る前に症例を研究目的で蓄積することはできないため、どういう経緯で「蓄積」された症例なのかを再度確認のうえ、適切な表現に修正すること。
- ・ 申請書 6.4 について、「後ろ向きで症例を蓄積した結果」と記載されているが、申請書 6.2 では該当する患者の対象期間が「2011 年 4 月 1 日～2022 年 12 月 31 日」までと記載されていることから、これから手術を受け本研究の対象となる患者もでてくるのではないかと思われるがどうか。対象症例数について対象期間を踏まえて確認し適宜修正すること。
 - ・ 申請書 9.1.2.2 について理由を再検討すること。
 - ・ 計画書 0.2 と 1. で齟齬があるので、修正すること。
 - ・ 計画書 2.2、4.1、4.2 の文末を「患者」に統一すること。
 - ・ 計画書 2.5 の同意について、ルーチンで試行している検査であったとしても原則は同意取得が必要である。本研究ではオプトアウトで対応すると思うが、研究対象者に対して研究内容及び利用する情報等について通知又は公開し、同意撤回ができる機会を保障するという倫理指針上の規定を踏まえて記載を検討し修正すること。
 - ・ 計画書 2.5 のフロー図は診療と研究の部分が混在しているため、それぞれ分けて記載すること。
 - ・ 計画書 5.1. について、登録手順（1）～3））が削除されたが、登録の手順として必要な記載ではないかと思われる。以前の記載では診療上で行われると思われる「検査」の記載など、研究と診療の内容が混在していたことを踏まえ、適切な内容に修正したうえで記載すること。
 - ・ 計画書 5.2. について、「同意撤回またはやむをえず中止しなければいけない者以外は一度登録された被験者の取り消し（データベースからの抹消）はしない。」と記載しているが、研究を遂行している最中にそれ以外のものを取り消す可能性があるか確認のうえ、記載すること。（登録後、適格基準外であったことが判明した場合など）
 - ・ 計画書 9.1. について、鍵のかかる棚に何を保管するのか具体的に記載すること。（個人を特定するための情報（表））
 - ・ 計画書 9.1. について、「ID は研究用 ID として識別番号に変換し」がわかりにくい。何の ID を研究用 ID に変換するのか、事前審査の指摘を参考に整理して記載すること。
 - ・ 計画書 12.2 について、予定症例数の設定根拠を計画書に記載すること。
 - ・ 計画書 13.6.2 について、「説明文書」と記載がある箇所がありますが、説明文書は本研究で使用しないので、修正すること。
 - ・ 計画書 13.6.2 について、「各医療機関」→「医療機関」に修正すること。
 - ・ 情報公開文書 3. について、「後ろ向き」という表現は一般の方にはわからないと思われる。一般の方にもわかるように記載表現を検討し修正すること。
 - ・ 情報公開文書 6. について、内線番号を記載すること。
 - ・ 情報公開文書 6. について、計画書の問い合わせ先と異なっているので、確認のうえ、修正すること。
 - ・ 情報公開文書 6. について、代理人に関する記載を修正すること。
 - ・ 計画書全体について、目次や各項目の番号がずれているので修正すること。

以上

承認済み研究課題の実施計画変更・追加申請（6月2日判定分） 審査結果

倫理委員会規程に基づいた迅速審査により、諏訪部医学部倫理委員会委員長の判断で下記の申請を承認した。

- 1) 受付番号： HG2020-005
課題名： 最先端技術を駆使した本邦心不全患者における Precision Medicine プラットフォーム構築 Epidemiological Multicenter Study for Tailored Treatment in Heart Failure: ELMSTAT-HF 研究
変更内容： ・研究分担者の追加（本学；山崎弥生）および削除、研究者の所属・職名変更

- 2) 受付番号： MH2021-142
課題名： 劇症型心筋炎に対する IMPELLA の有用性・安全性に関する多施設後ろ向き登録研究
変更内容： ・分担研究者の追加
内科学講座循環器内科分野 助教 二宮 亮
岩手医科大学 医学部3年 越川 柊
岩手医科大学 医学部3年 小澁 秀真
岩手医科大学 医学部3年 早坂 黎馬
岩手医科大学 医学部3年 林 偉成

- 3) 受付番号： MH2021-143
課題名： 心原性ショック合併の心筋梗塞に対する IMPELLA の有用性・安全性に関する多施設後ろ向き登録研究
変更内容： ・分担研究者の追加
内科学講座循環器内科分野 助教 二宮 亮
岩手医科大学 医学部3年 越川 柊
岩手医科大学 医学部3年 小澁 秀真
岩手医科大学 医学部3年 早坂 黎馬
岩手医科大学 医学部3年 林 偉成

以上